

# 第4回《八幡ふるさと検定》 実施要領

試験日時 平成30年1月21日(日) 午前10時開始 11時終了

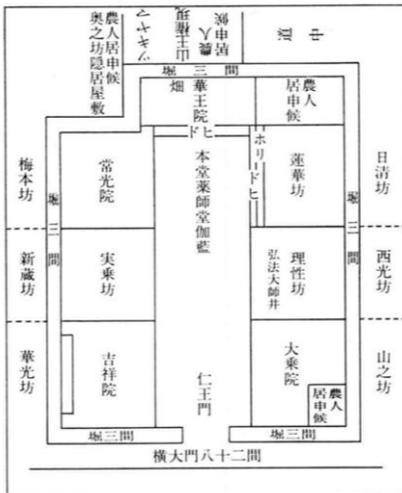
試験会場 知多市青少年会館 知多市八幡字堀切91-1 ☎ 0562-36-2960

受験料 大人 500円 学生(小・中・高生) 200円

申込期限 平成29年11月1日(水)～11月15日(水)

申込方法 (1)お住まいの地域の組長・町内会長に申し出てください。  
(2)八幡コミュニティのホームページで過去の試験問題・テキストを公開しています。

法海寺古絵図(創建当時の伽藍配置)



## ふるさと検定 八幡塾《探訪考証編》

# 郷土の伝統・文化を学ぶ 法海寺大百科(第2回)

法海寺は八幡の全住民によって  
お守りしています

法海寺が今から千三百五〇年前に創建されたとされる根拠は一卷の巻物に記されている。その巻物「薬王山法海寺儀軌」(写真下中)は、代々の住職によって今日まで大切に伝えられてきた。

薬王山法海寺は、薬師如来を御本尊に祀り、現世利益を祈願する天台宗の古刹であり、日本三薬師「奈良法隆寺(一説には、信州諏訪大社 本地仏)、三河鳳来寺及び寺本 法海寺」の一つとされている。法海寺の開基は、新羅国

明信王の太子の道行法師といわれ、由緒は「日本書紀」巻二七の天智天皇七年の条につながっている。そこには、「沙門道行、草薙劔を盗みて新羅に逃げ向く、而して中路に雨風にあいて、荒迷ひて歸る」と道行の名前が登場している。後世に編纂された寺伝の「薬王山法海寺儀軌」によれば、この後、この沙門道行は帰国を断念し当地に堂宇をいとなんでいた。そして、天智天皇の御不例を当山御本尊に祈願して平癒した功によって、「薬王山法海寺」の勅額と寺田二八〇町歩を賜った。

時に、天智七(六六八)年、八月三日の創建とされ、以降、淳和天皇に至る十三代の勅願寺として堂宇壯観、内外十二院(上の図)があったと伝えられている。法海寺の敷地からは白鳳時代の古瓦が出土しており、千三百有余年の歴史を裏付ける有力な事象としてその信憑性を物語っている。

本堂前の薬王山法海寺略縁起



薬王山法海寺儀軌(縁起書)



日本書紀の冒頭

